

UBE読書のまちづくり ネットワーク会議通信

Vol.3
2019.7

第3回 ネットワーク会議を開催しました！

令和元年6月29日（土）10：00～宇部市立図書館で開催し、34名の方々にご参加いただきました。

今回は、山口市立中央図書館様、山陽小野田市立中央図書館様をお招きし、図書館の取り組みをご紹介いただいた後、限られた時間ではありましたが、「図書館、地域、学校、民間施設、企業等、市全体でできる取組・アイデア」についてワークショップを行いました。

「山口市における 日本一 本を読むまちづくり」の取り組み

山口市立中央図書館
藤井館長 様 大井主幹 様

目指すまち・図書館の姿を実現するために早期の取り組みや成果向上が求められる「図書館サービス充実プロジェクト」に位置付けられた重点事業の『サードプレイスとしての環境づくり』『まちじゅう図書館』などを紹介していただきました。



「山陽小野田市立図書館のチャレンジ」

山陽小野田市立図書館
山本館長 様



図書館という場と機能を活用した新たな企画や行事を開催するための図書館創発会議の運営や、図書館の新たな可能性を求めて様々な企画を検討されている現状、子育て絵本カフェ、サイエンスカフェ、本で婚活など多彩なイベントについて紹介していただきました。

第4回 ネットワーク会議開催のお知らせ

「みんなが行きたくなる図書館を創ろう！」（図書館再生計画）

日時 7月27日（土）10：00～12：00
場所 宇部市立図書館 2階 講座室

【お問合せ先】

宇部市立図書館
TEL 0836-21-1966
FAX 0836-21-3801

各グループ発表内容

テーマ『読書のまちづくりに向けて「図書館、地域、学校、民間施設、企業等、また、市全体でできる具体的な取組・アイデア」』



グループ①

紹介された、山口市と山陽小野田市の事例を参考にした。例えば、スーパーの陳列の中に商品を活用したレシピ本を置くなどして、広げていくことが考えられる。図書館の情報を活用し、また、図書館で集約し、プロジェクトのようなものを中心に横のつながりに広げていく。情報と知恵の集合部門を中心に、ワークショップなど日常生活に関わることについてプロジェクトを中心に考えていければと思う等の意見が発表されました。

グループ②

図書館作りについて大きく3つの意見が出た。まず図書館を魅力的なものにするため、展示の工夫、花を飾る、カフェがある、来館者が交流コミュニケーションできる場所作り。イベントについては、今日の発表事例がとても良かった。子供やあらゆる世代を対象にしたイベントを繰り返し広げることが大切。場作りについては、人と人が出会う場所として様々な悩みがある人のコミュニケーションの場になれば良いと思う等の意見が発表されました。

グループ③

図書館の更なる情報発信が必要。ホームページについても市のホームページの中にも含まれるものではなく、図書館単独のホームページを開設しては。図書館を中心としたまちづくりについては、カフェを併設したり、学校等と連携したイベントを開催する。図書館の近隣施設との連携、相互に移動しやすいアクセス、また井筒屋の跡地の活用も視野に入れることが必要との意見等が発表されました。

グループ④

図書館と市全体を一つの大きな空間と捉え、どのようにアウトプットしていくかが大事。大切なことは空間作り、図書館にハブ機能を持たせ、オンライン、オフラインにも使える市民や職員などが自主的な交流づくりのサポートをする。そのためにはやりがいと継続性も必要。ARのように情報のカードが図書館であり、SNSなどでつなげていく。パネル展示についても、本とタイアップしたものを企画する等の意見が発表されました。

グループ⑤

図書館がもっと街に出かけていくことが必要ではないか。山口市のサテライトカフェのように待合室があるような場所すべてに本を貸し出してはどうか。展示についても、見栄えのよさが必要。ボランティアの活動を広げ、ボランティアのスキルアップを図る。山陽小野田市の連携も、山本館長のような豊富な知見を参考にする等の意見が発表されました。

グループ⑥

山陽小野田市の様々なイベントやワークショップは参考になった。それぞれのイベントはターゲットを絞っているのが良い。宇部市も山口大学との交流ができるのではないかと。イベントは、ボランティアやサポーターを活用する取り組みが必要。ボランティアを組織的なものにしていくことも必要。図書の貸し出しについては、高齢者サービスとしてさらなる充実が必要との意見が発表されました。